

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小泉山体験の森 整備事業
事業主体 (連絡先)	小泉山体験の森創造委員会 事務局 (茅野市教育委員会 生涯学習課) 茅野市塚原二丁目6番1号 0266-72-2101 (内線634)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	2,532,060円 (うち支援金: 1,688,000円)

#### 事業内容

- ・安心・安全な里山を目指し、小泉山全体で案内看板を6基、標柱を36本、矢印看板13基、由来看板を5枚付け替えた。作業は委員や地域住民、地域の子どもたちに協力を呼びかけ、地域全体で整備・活用していることを家庭内で再確認する機会となるよう働きかけた。特に小泉山は個人と財産区が所有する里山であるが、財産区の委員にも創造委員会の活動を詳しく知らない委員もいるため、地域住民へ幅広く声掛けを行った。
- ・9月15日(日)下古田、9月15日(日)上古田、9月15日(日)粟沢、10月4日(金)南小泉、10月26日(土)緑、11月15日(金)中沢、11月30日(土)・12月15日(日)田道、12月7日(土)山頂にて、委員、地域の方、子ども、保護者が参加。
- ・天候不順により東部中学校の課外授業は中止となった。

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・作業には、各地区3名の子ども参加目標であった中、粟沢区(9名)下古田(3名)上古田(3名)田道(8名)の参加があり、併せて保護者にも参加してもらうことができた。他地区は都合上、平日実施のため子どもの参加はできなかった。
- ・夏の植物観察会は、雨天中止。秋の植物観察会では昨年21名から今年は27名となった。
- ・リニューアル整備を、公民館事業や地区の子ども会等の行事として扱ってもらい、家族参加としてもらった。(目標3事業の実施、粟沢区・下古田区はボランティア活動、田道区は収穫お楽しみ会(クリタケ)を兼ねる)
- ・オオムラサキの保護活動を通じて、子どもたちにより小泉山に興味を持ってもらうことができた。観察会や放蝶会で小泉山に登り、学校での保護活動や観察を通してオオムラサキや小泉山の生態系を学ぶ「体験学習の森」としての機能を充実させることができた。(放蝶会の子どもの参加者が、平成29年度12名から平成30年度は18名に増加。令和元には雨天にもかかわらず12名の参加。)
- ・毎年の地区パネル展示にて活用PRに加え、今年度新たに地区パネル展示でのコーナーで、オオムラサキの幼虫として折り紙で青虫作成を行うと、親御さんが集まり、学校行事併用に加え家庭での参加様子や作業風景を見ながら話題提供となり好評であった。(玉川地区(4H)148匹、豊平地区(3H)53匹持ち帰り)
- ・広報では特集記事を掲載した。



(活動写真)

#### 【標柱・矢印看板設置作業の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①きれいな登山道、見やすい看板の設置
- ②地域住民や子どもたちに参加してもらい、啓発の機会とする
- ③活用してもらい機会を増やす

#### ※自己評価【 B 】

#### 【理由】

普段から整備している地区部会を中心に、委員以外の地域住民や子どもにも参加を呼びかけた。子どもだけでなく保護者にも参加をもらうことで、家族でも小泉山を楽しめることをアピールできた。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

小泉山で体験したことが子どもたちの心に残るよう、引き続き小泉山の整備や様々な活動、イベントを主催していきたい。来年度以降も、地域住民、学校関係者や行政と協働し、整備活動やオオムラサキの保護活動など継続して行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある